#### 学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

## 学力向上検討委員会構成

教諭 鋳形美絵

(第6学年担任)

(高学年担当)

# 石井町藍畑小学校 「学力向上実行プラン」

- ・子どもの気づきを大切にし、基礎的・基本的な知識・技能の定着と思考力・判断力 の向上を図り、分かる喜びを大切にした楽しい授業を工夫する。
- ・ICT機器を活用し、言語活動の充実と、基礎・基本の徹底により学びを定着させる。
- ・児童同士の学び合いを大切にし、個別最適な学びと協働的な学びの一体化を目指す。
- ・読書活動の推進により語彙力・想像力を向上させ、豊かな心を育てる。

# 学力向上推進員 委員

校長 下窪耕司

**教頭 清重正俊** 

教務主任 教諭 井上明 研修主任 指導教諭 武市由美

教諭 三澤成美(中学年担当)

教諭 中南香菜(低学年担当)

校長

下窪 耕司

# ◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み学力の向上を推進

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員による報告等、様々な機会を捉え、情報交換や状況把握を行う。

## (1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○どの学年も落ち着いて学習に取り組	・アンケートで「授業は分かりやすく楽し	・子どもの気づきや分かる喜びを大切にし、楽			
み、与えられた課題にもまじめに取り	い」と答える児童を90%以上にする。	しい授業を工夫する。			
組むことができる児童が多い。	・ICT機器を活用し、個々の能力に合わ	・タブレット端末を、授業や家庭学習で積極的			
OICT支援員の協力を得て、タブレットの	せた知識・技能の習得や、応用問題に	に活用するようにし、個々の能力に合わせた			
基礎的な操作のスキルが身に付いて	取り組むことができる。	学習内容を提示する。			
いる。デジタル教科書の活用の仕方を	・文章の内容を正確に読み取ったり、話	・基礎・基本の徹底だけでなく、既習事項を生			
学んでいる。	をよく聞いて、内容を把握したりできる。	かした応用問題や、日常での活用などを授			
●既習事項を生かした応用問題に苦手		業に取り入れる。			
意識をもつ児童が多い。		・日記指導や作文指導により、基礎基本の習			
●長文の読解力が弱く、話を聞いて内容		熟を図り、文章力の向上につなげる。			
を把握したりすることに課題がある。					

## (2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○答えを発表したり、文章を声に出して	・根拠や理由を明らかにして、自分の考	<ul><li>ペア学習やグループ学習の機会を効果的に</li></ul>			
読んだりすることのできる児童は多	えを表現したり、自分と友だちの意見を	設定する。ホワイトボードやICTを効果的に			
い。	比べながら聞いたりできるようにする。	活用した発表や話し合い活動を行う。			
〇調ベ学習や体験的な学習で考えを深	・アンケートで「進んで自分の考えを発表	・児童の発言や発表の内容に「なぜ」「どうし			
める児童が多い。	したり、話し合ったりする。」と答える児	て」など、思考を深める発問を行うなど、豊か			
●自分の考えを根拠や例を挙げて話し	童を85%以上にする。	な言語活動が展開されるようにする。			
たり、自信をもって伝えたりすることに		・体験学習を重視し、テーマに向かって学習活			
課題がある。		動を展開していく単元を構想する。			

## (3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童	生徒の状況	(○よさ・●課題)	具体的目標(目指	旨す子供の姿)	具体的	方策(教員の取組	)	中間期の見直し	•	達成状況	(評価)	次年度における改善	事項
Oほとん	しどの児童か	「毎日宿題を提出して	・基礎・基本の問題だ	けでなく、応用問題	・各教科の学習や	5家庭学習に、基	礎・基本の						
おり、	授業中も真	面目な態度である。	や教科書に載ってい	ない読解問題など	問題だけでなく、	応用問題や教科	書に載って						
	<sup>は</sup> 習に対して、前向きに取り組み、よく にも最後まで取り組むことができる。			いない読解問題	などを取り入れる。	0							
聞き、	聞き、考える児童が多い。・読書習慣を身に付け、前後期ともに、低			1 -	などで、あるテー	I							
		強く取り組むことので	学年50冊、中学年4	10 冊、高学年 30 冊	├ 意見を出し合う	学習活動を多く取り	ノ入れる。						
		学習に取り組む児童	の目標達成児童を8	0%以上にする。	<ul><li>読み聞かせや図</li></ul>	書委員による読書	聾冊数の表│						
が少れ					彰に加え、イベン	小を行い読書へ <i>0</i>	D興味関心						
		が十分でなく、図書室			を高める。								
の利用	用がほとんと	ざない児童が多い。			・本の貸し出しを持	推進する。							
3 月	4 月	5 月	6 月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12月	1月	2 月	3 月	4月
次		全国学力学型建设調本 4 日	17 F										

